

令和5年度 林業普及週間現地情報 (1/29～2/4)

森林管理課

植林体験・木炭作り講習会の実施

2月4日(日)

令和6年2月4日(日)に石垣市内において、戸眞伊氏を講師とした植林体験・木炭作り講習会を開催し、一般参加者や関係者を含め20名余りが参加した。

八重山農林水産振興センターでは、森林の利活用に関する様々な知見を次世代へ継承する事業を実施しており、地元木工事業者、森林組合等の協力のもと開催した。

今回は上記事業の第3回目の講習会ということで、石垣市有林内にてテリハボク100本を植栽し、森林の循環利用の意義を学んだ。植栽地周辺はH29年に造林事業によりテリハボクを植栽しており、八重山森林組合の平山氏から、伐採した後の造林・保育等について施業地を見学しながら説明を受けた。また、八重山森林組合内にある炭焼き窯にて、講師の戸眞伊氏及び平山氏から木炭づくりの方法等の説明があった。最後に、これまでの3回の講習会の総括として、全体を通じた質問や意見を述べる場として座談会を設けた。参加者からは、住宅分野への島材の活用方法、樹種についての質問や、利活用を念頭においた植林事業を求める意見などがあがった。

八重山では、伐期に達した森林資源の有効な活用が求められており、今回の講習会を通して関係者や一般参加者の中でも、森林の循環利用に対する理解や課題を共有する良い機会になったと考える。今後も、行政機関だけでなく、様々な関係者を含めた協働により、八重山の森林資源のさらなる利活用を進めたい。



講習会の様子

(報告者：八重山農林水産振興センター 小菅、金城)